

## 第4章 市の地理的、社会的特徴

### 第1節 地形

#### 1 位置

本市は、大阪平野のほぼ東南に位置し、西、北は堺市に、南は河内長野市に、東は富田林市に接する。面積は11.92平方キロメートルで府内(33市9町1村)39番目の広さである。

市の位置・広ぼう・高度・面積

位 置	東経	135° 33
	北緯	34° 30
広 ぼう	東西	2.4 km
	南北	7.0 km
高 度	最高	165 m
	最低	52 m
面 積	11.92k m <sup>2</sup>	

#### 2 地勢

南から北へ傾斜し南北に細長い地形になっており、北・東部の平野地と南・西部の丘陵地帯に二分され、平野地は東の羽曳野丘陵、北の大阪平野へ、丘陵地帯は南西の泉南丘陵へ連なっている。

また、ほぼ中央部の狭山池(0.39k m<sup>2</sup>)の南から西除川、三津屋川が流入し、狭山池からは西除川、東除川が北流し大和川に注いでいる。

本市中央部の西除川沿いには谷底平野が細長く南北に連なり、中部から北部にかけて砂礫台地・中位段丘が広がる。

南部には、山地・丘陵地が分布し谷筋には谷底平野が分布する。また、一部には、人工改変地がみられる。

#### 3 地質

本市における地質は、大阪層群、段丘層、沖積層からなり、大阪層群は半固結状で、砂礫層及び泥層を主体とする。段丘層・沖積層は未固結堆積物として区分されており、主として砂礫がちの堆積物である。

また中・低位段丘層、高位段丘層、大阪層群、古大阪層群が分布する。谷部には沖積層(運積土)が分布し、軟弱な粘土・砂などの地層を形成している。

## 第2節 気候

平成26年の本市の気象概況は、年平均気温が16.7、年間降水量が1,278.5ミリメートルとなっており、本市は瀬戸内式気候に代表される比較的温暖で雨量の少ない地域である。年間雨量は、異常気象の有無により異なるが、ここ5年間の年間平均雨量は、1,450.0ミリメートルである。（資料：平成27年度版 大阪狭山市統計書）

## 第3節 人口

昭和26年4月1日の町制施行時9,000余人の人口であったが、昭和42年から南西部の丘陵地帯における大規模な開発（狭山ニュータウン）により、大阪市周辺の住宅都市として急激な人口増加をもたらした。特に、昭和45年から昭和50年までの5年間には87.8パーセントと府内随一の増加率を示した。また、次の昭和50年から昭和55年までの5年間も29.0パーセントの増加率を示した。

狭山ニュータウンへの入居がほぼ完了したとみられる昭和55年以降この傾向は鈍化しているものの、昭和60年の国勢調査では5万人を突破し、昭和62年10月1日「大阪狭山市」として市制施行した。

平成27年10月1日現在の人口は57,788人（内、外国人315人）で、平成22年と比較すると減少の状況となっているが、世帯数においては、増加の状況となっている。一方、一世帯当たりの人数は調査毎に漸減傾向にあり、核家族化・少子化等の進行が見られる。

また、高齢化については本市も例外ではなく、高齢化のひとつの指標である老年人口比率（総人口に占める65歳以上の割合）は、全国割合ほど高くはないものの調査年ごとに増加比率は高くなっている。

《表：人口及び世帯数等の推移》

(各年10月1日現在)

年	人口	増加		世帯数	一世帯当 たり人員	老年人口		
		数	数			人口	割合	全国割合
昭和50年	人 36,045	人	%	9,954	人 3.62	人 1,679	% 4.7	% 7.9
55	46,508	10,463	29.0	13,716	3.39	2,543	5.5	9.1
60	50,246	3,738	8.0	15,346	3.27	3,336	6.6	10.3
平成2年	54,319	4,073	8.1	17,188	3.16	4,356	8.0	12.0
7	57,647	3,328	6.1	19,189	3.00	5,927	10.3	14.8
12	56,996	-651	-1.1	20,295	2.81	7,639	13.4	17.3
17	58,208	1,212	2.1	21,807	2.67	9,997	17.2	20.1
22	58,227	19	0.03	22,473	2.59	12,915	22.2	23.0
27	57,788	-439	-0.76	24,689	2.34	14,964	25.9	26.7

## 第4節 都市構造

### 1 交通

#### (1) 道路

道路は、国道310号と府道河内長野美原線が南北に走り、堺市や河内長野市等と結ばれ、また府道森屋狭山線、堺狭山線と市道金剛泉北線、廿山高蔵寺線が東西に走り富田林市や堺市と結ばれている。

## (2) 自動車保有台数(平成27年3月末)

・乗用車	15,553台
・トラック	1,023台
・バス	45台
・大型特殊自動車	232台
・軽自動車	9,487台
・小型特殊車	68台
・小型二輪自動車	711台
・原動機付自転車	7,432台
総数	34,551台

(資料:平成27年度版 大阪狭山市統計書)

## (3) 鉄道

本市の東端を南北に南海電気鉄道高野線が縦断し、急行停車駅の金剛駅をはじめ、大阪狭山市駅、狭山駅の3駅が存在し、通勤・通学の主要な交通手段となっている。

1日あたりの乗降者数は、金剛駅が、34,961人、大阪狭山市駅が、9,194人、狭山駅が、5,932人である。

(資料:南海電鉄ホームページ(平成27年度))

## (4) バス

本市では、南海バス株式会社が営業運行している路線バスと、市が運行している循環バスがあり、市内の主要路線を運行している。

## 2 住宅

国道310号を境にして狭山ニュータウンが西側にあり、泉北ニュータウンと接している。国道310号の東側の旧市街地では木造住宅が密集し、住宅は概ね一戸建または5階建までの低・中層住宅であるが、高層住宅の建設も見受けられる。一方、市域の中央部、北部には田園地帯が残っているが、近年、宅地開発が進んでいる。